

令和5年度
事業概要



仙台・宮城観光PRキャラクター むすび丸

宮城県食肉衛生検査所

事業概要の発行にあたって

本県の食肉衛生行政の推進につきましては、日頃から格別の御理解と御協力を賜りこの誌面を借りまして厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが昨年5月から季節性インフルエンザと同じ5類となったことから、感染予防は行政からの一律対応が無くなり個人や事業者等の判断によるところとなり、当所においてはこの1年間で会議、研修会、学会等へ職員を積極的に参加させられるようになりました。また、当所の調査研究の発表の場である業績発表会においても、本年2月にウェブ開催から4年振りの対面開催へ変更することができ、多くの方にご参加いただくとともに活発な質疑応答も行えました。発表した職員にとっては貴重な経験の場であり、調査研究への取組意欲の向上にも繋がる大変有意義なものでした。今後も、各種研修会や学会等への参加、調査研究の発表機会の確保等、職員の知識や技術の研鑽を図る機会を逸することの無いよう努めていきたいと思っております。

当所のと畜検査実績に目を向けてみますと、令和5年度と4年度との比較において、と畜検査頭数と全部及び一部廃棄実頭数に大きな増減はなく、廃棄原因の疾病別頭数も、豚丹毒（関節炎型）による全部廃棄頭数の若干の増加が見られたものの疾病の発生傾向に大きな変動はありませんでした。出荷している生産農場の衛生管理が一定の水準で維持されているためと思われませんが、家畜疾病流行の動向を踏まえながら、発生頻度の低い疾病であっても適切に排除が行えるよう、検査に係る知識と技術の向上及び継承を継続的に図っていくことが必要と思われれます。

また、令和3年度より開始された外部検証につきましては、効率的で効果的な現場検査、微生物試験及び記録検査の実施に努めていますが、残念ながら職員定数に対して欠員が生じる状況が続き、と畜検査との兼ね合い等で計画通りに行えないこともありました。しかし、この3年間の外部検証を通して、作業従事者への動機づけや作業手順書の改定等が図られていることから、今後も自主衛生管理の確立に向けた的確な外部検証の実施に取り組んで参ります。

ここに令和5年度の事業概要をとりまとめましたので、業務の参考としてご高覧いただければ幸いです。

令和6年6月

所 長 岡崎 紀之

目 次

I 組織の概要

1 組織	1
2 職員の配置	1

II 事業の概要

1 と畜検査業務	
1) 県内と畜場別検査頭数	3
2) 年度別検査頭数	3
3) 月別検査頭数	3
4) 出荷地別検査頭数	4
5) 原因別処分件数	5
6) 病類別一部廃棄	6
2 食鳥検査業務	
1) 食鳥処理場の開場日数及び検査羽数	10
2) 月別検査羽数	10
3) 原因別処分羽数	10
4) 認定小規模食鳥処理場別確認状況	11
3 精密検査業務	
1) 精密検査実施状況	12
2) T S E 検査実施状況	12
3) 残留抗菌性物質検査実施状況	12
4) 食肉中の放射性物質検査実施状況	13
4 衛生指導及び情報還元等業務	
1) 衛生指導実施状況	14
2) 衛生講習会、衛生検討会等実施状況	15
3) 情報還元等実施状況	15
4) 外部研究機関等検体採取状況	16
5) オープン・ラボ	16
6) みやぎ出前講座	16
7) 獣医師インターンシップ	16

Ⅲ 調査研究

調査研究テーマ及び学会・研修会等への報告状況……………	17
-----------------------------	----

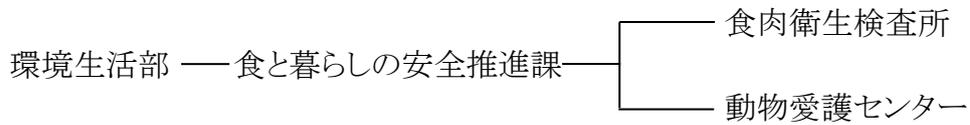
Ⅳ その他

1 県内食肉衛生検査所一覧……………	18
2 県内と畜場一覧……………	18
3 県内食鳥処理場一覧……………	18
4 と畜・食鳥検査手数料（宮城県）……………	19
5 と畜場使用料・解体料（宮城県食肉流通センター）……………	19
6 行政組織規則（抜粋）……………	19
7 事務委任規則（抜粋）……………	20

I 組織の概要

1 組織

知事部局



2 職員の配置

令和6年度

(令和6年4月1日現在)

所 長				
技術副参事兼総括次長				
技術次長(検査担当)				
班名	管理班	検査第一班	検査第二班	精密検査班
次長	1名 (事務職)			
技術次長		2名	1名	
技術主幹				1名
技術主任主査		2名		
主査	1名 (事務職)			
技術主査	1名	2名	3名	2名
技 師		2名		5名
会計年度 任用職員	検査員 3名 検査補助員 4名			

所 長				
総括次長				
班名	管理班	検査第一班	検査第二班	精密検査班
次長	1名 (事務職)			
技術次長			1名	
技術主幹		1名		1名
技術主任主査		2名		
主査	1名 (事務職)			
技術主査	1名	4名	3名	3名
技 師		1名		5名
会計年度 任用職員	検査員 2名 検査補助員 5名			

Ⅱ 事業の概要

1 と畜検査業務

1) 県内と畜場別検査頭数(仙台市を除く)

と畜場	畜種	計	生後1年以上の牛	生後1月以上1年未満の牛	生後1月未満の牛	馬	豚	めん羊	山羊
宮城県食肉流通センター		249,451	3,254	6	0	0	246,001	190	0
宮城県畜産試験場内簡易と畜場		0		0	0		0	0	0
総計		249,451	3,254	6	0	0	246,001	190	0

2) 年度別検査頭数

① 宮城県食肉流通センター

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
生後1年以上の牛	6,031	4,784	3,899	3,796	3,998	3,437	2,993	2,435	2,864	3,254
生後1月以上1年未満の牛	5	1	0	3	0	1	2	2	7	6
生後1月未満の牛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
馬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
豚	243,116	248,119	237,425	245,914	228,860	238,060	247,450	241,800	238,282	246,001
めん羊	22	23	39	13	31	39	86	139	172	190
山羊	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0
計	249,175	252,929	241,364	249,726	232,889	241,537	250,531	244,376	241,325	249,451

② 宮城県畜産試験場

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
豚	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3) 月別検査頭数

① 宮城県食肉流通センター(一般畜)

	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生後1年以上の牛	3,239	268	279	245	286	233	266	281	295	310	295	255	226
生後1月以上1年未満の牛	5	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
生後1月未満の牛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
馬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
豚	245,888	19,829	20,567	20,303	17,908	20,114	19,165	21,872	22,301	21,792	20,475	20,012	21,550
めん羊	189	13	10	18	13	13	11	14	34	17	13	20	13
山羊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	249,321	20,113	20,856	20,567	18,208	20,360	19,442	22,167	22,630	22,119	20,783	20,287	21,789
小動物換算 ^{※1}	255,799	20,649	21,414	21,057	18,780	20,826	19,974	22,729	23,220	22,739	21,373	20,797	22,241
開場日数	241	20	20	22	20	20	20	21	20	20	19	19	20
一日あたりの検査頭数	1061.4	1032.5	1070.7	957.1	939.0	1041.3	998.7	1082.3	1161.0	1137.0	1124.9	1094.6	1112.1
稼働率(%) ^{※2}	73.2	71.2	73.8	66.0	64.8	71.8	68.9	74.6	80.1	78.4	77.6	75.5	76.7

※1 小動物換算: 大動物(牛・馬)1頭あたり、小動物(豚・めん羊・山羊)3頭分として算定

※2 稼働率=1日あたりの検査頭数/1日あたりの許可頭数(小動物換算1, 450頭)

② 宮城県食肉流通センター(病畜)

	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生後1年以上の牛	15	1	0	1	1	2	2	1	2	2	1	1	1
生後1月以上1年未満の牛	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
生後1月未満の牛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
馬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
豚	113	7	16	17	9	3	10	7	10	6	2	10	16
めん羊	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山羊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	130	8	16	19	10	6	12	8	12	8	3	11	17
小動物換算	160	10	16	21	12	10	16	10	16	12	5	13	19
開場日数	81	5	8	11	7	4	8	5	9	7	3	6	8
1日あたりの検査頭数	2.0	2.0	2.0	1.9	1.7	2.5	2.0	2.0	1.8	1.7	1.7	2.2	2.4
稼働率(%)※	4.0	4.0	4.0	3.8	3.4	5.0	4.0	4.0	3.6	3.4	3.4	4.4	4.8

※ 稼働率=1日あたりの検査頭数/1日あたりの許可頭数(小動物換算50頭)

③ 宮城県畜産試験場

	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
豚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4) 出荷地別検査頭数

① 牛・豚

出荷地	畜種	生後1年以上の牛			生後1月以上1年未満の牛			豚		
		計	一般畜	病畜	計	一般畜	病畜	計	一般畜	病畜
宮城県		1,190	1,179	11	6	5	1	123,651	123,563	88
県外	北海道	0	0	0	0	0	0	1,746	1,746	0
	青森県	1,643	1,640	3	0	0	0	6,094	6,093	1
	秋田県	0	0	0	0	0	0	13,395	13,395	0
	山形県	0	0	0	0	0	0	294	294	0
	岩手県	421	420	1	0	0	0	100,821	100,797	24
小計		2,064	2,060	4	0	0	0	122,350	122,325	25
総計		3,254	3,239	15	6	5	1	246,001	245,888	113

② めん羊・山羊

出荷地	畜種	めん羊			山羊		
		計	一般畜	病畜	計	一般畜	病畜
宮城県		158	157	1	0	0	0
岩手県		32	32	0	0	0	0
総計		190	189	1	0	0	0

5) 原因別処分件数

① 全部廃棄

疾病名	畜種	計	生後1年以上の牛		豚	
			一般畜	病畜	一般畜	病畜
豚丹毒		29	—	—	29	0
膿毒症		46	0	0	44	2
敗血症		64	0	0	62	2
尿毒症		0	0	0	0	0
黄疸		1	0	0	1	0
腫瘍		8	1	0	7	0
炎症		5	0	1	3	1
変性		9	0	0	8	1
水腫		0	0	0	0	0
その他		1	0	0	1	0
合計		163	1	1	155	6

② 一部廃棄

疾病名	畜種	計	生後1年以上の牛		生後1月以上 1年未満の牛		豚		めん羊	
			一般畜	病畜	一般畜	病畜	一般畜	病畜	一般畜	病畜
放線菌病		1	1	0	0	0	0	0	0	0
細菌病その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0
ジストマ病		3	3	0	0	0	0	0	0	0
寄生虫病その他		8,397	0	0	0	0	8,389	7	1	0
黄疸		20	0	0	0	0	20	0	0	0
水腫		2,318	188	7	0	0	2,110	12	0	1
腫瘍		12	2	0	0	0	10	0	0	0
炎症又は炎症 産物による汚染		142,664	1,815	14	5	1	140,698	92	39	0
変性又は萎縮		16,828	888	11	4	0	15,884	23	17	1
その他		3,761	34	1	0	0	3,705	21	0	0
合計		174,004	2,931	33	9	1	170,816	155	57	2
処分実頭数		152,770	2,201	14	5	1	150,400	99	49	1

③ とさつ禁止

疾病名	畜種	計	生後1年以上の牛		生後1月以上 1年未満の牛	豚		めん羊
			一般畜	病畜	一般畜	一般畜	病畜	一般畜
合計		0	0	0	0	0	0	0

注) 令和5年度は「とさつ禁止」の措置はなし

6) 病類別一部廃棄

部位	疾病名	一般畜				病畜				計
		生後1年以上の牛	生後1月以上1年未満の牛	豚	めん羊	生後1年以上の牛	生後1月以上1年未満の牛	豚	めん羊	
頭	頭筋肉膿瘍	4		282				3		289
	頭皮下膿瘍	1		211				1		213
	頭リンパ節膿瘍	2		144				1		147
	頭変性	2		2						4
	頭リンパ節抗酸菌症			3						3
	頭放線菌症	1								1
	頭その他	9		12	2	1		1		25
舌	舌膿瘍	2		23						25
	舌炎	12		56		1		1		70
	舌癒痕	22		125						147
	舌潰瘍	4		2						6
	舌腫瘍			1						1
	舌黄疸			1						1
	舌その他			3		1				4
肺	肺炎	19		368	4	1		3		395
	肺膿瘍	19		2,151				3		2,173
	マイコプラズマ性肺炎+			68,518				13		68,531
	マイコプラズマ性肺炎++			12,015				7		12,022
	マイコプラズマ性肺炎+++			3,283						3,283
	胸膜肺炎			1,010				1		1,011
	胸膜炎	96		28,457		1		9		28,563
	肺水腫	1		3						4
	肺虫症			4						4
	肺気腫	21		1		1				23
肺その他			17						17	
心臓	心外膜炎	115	1	9,453	1	3		5		9,578
	心膿瘍			10		1				11
	心筋出血	28		67	9					104
	心筋変性	5		151	1					157
	症状心内膜炎			47						47
	心奇形			2						2
	心水腫			50						50
心その他	2		48		1				51	
動脈	動脈炎	19	1			1				21
	動脈硬化症	4								4
横隔膜	横隔膜炎	63	2	9		1				75
	横隔膜膿瘍	100		17						117
	横隔膜漿膜炎	69		130		1				200
	横隔膜水腫	2								2
	横隔膜その他	2								2
肝臓	間質性肝炎	4		4,285				4		4,293
	寄生性間質性肝炎			7,589	1			7		7,597
	肝壊死	186		2,678	6			4		2,874
	退色肝	47	3	5,108	3	3		1		5,165
	肝膿瘍	178	1	116				1		296
	肝抗酸菌症			3						3
	肝鬱血	4		257						261
	嚢胞肝	2		5						7
	肝出血	173	1	476	4	1				655
	肝硬変	1		34						35
	肝リポフスチン症			14						14
	肝萎縮	1		26						27
	肝炎	1		128						129
	肝奇形			35						35
	鋸屑肝	36								36
	肝結節性増生			4						4
	肝腫瘍	2								2
	着色肝			1						1
	肝捻転			8						8
	肝蛭症	2								2
	肝富脈斑	190				2				192
	肝変性	2		43						45
	肝包膜炎	501	1	9,369	9	2		4		9,886
	胆管結石	68		3						71
	胆管炎	45		7	1					53
	横隔膜ヘルニア	1		40						41
	肝その他	1		13						14

部位	疾病名	一般畜				病畜				計
		生後1年以上の牛	生後1月以上1年未満の牛	豚	めん羊	生後1年以上の牛	生後1月以上1年未満の牛	豚	めん羊	
胃	胃炎			3,095				4		3,099
	胃膿瘍			6						6
	胃漿膜炎			673						673
	胃潰瘍			68						68
	胃水腫			8						8
	第2胃双口吸虫症	1								1
	創傷性第2胃炎	3								3
	第一胃炎	26				1				27
	第二胃炎	36				1				37
	第三胃炎	18				1				19
	第四胃炎	84				1				85
	第一胃漿膜炎	25	1							26
	第二胃漿膜炎	74	1							75
	第三胃漿膜炎	22	1							23
	第四胃漿膜炎	35	1							36
	第一胃膿瘍	3								3
	第二胃膿瘍	8								8
	第三胃膿瘍	6								6
	第四胃膿瘍	5								5
	第一胃周囲脂肪壊死	72				1				73
第二胃周囲脂肪壊死	40				1				41	
第三胃周囲脂肪壊死	43				1				44	
第四胃周囲脂肪壊死	83				1				84	
腸	腸炎			12,821				8		12,829
	腸膿瘍			63				2		65
	腸間膜リンパ節抗酸菌症			167						167
	腸漿膜炎			5,728				3		5,731
	腸回虫症			794						794
	腸間膜リンパ節膿瘍	1		15						16
	腸間膜水腫	3		109						112
	腸奇形			23				1		24
	腸気泡症			90				1		91
	腸間膜骨化			1,676						1,676
	腸水腫			24						24
	大腸炎			37						37
	小腸炎	420	1	611		2		1		1,035
	直腸脱			36						36
	直腸炎	102	1	18				2		123
	腸鞭虫症			2						2
	盲腸炎	212	1			1				214
	小腸漿膜炎	25	1							26
	盲腸漿膜炎	45	1							46
	結腸漿膜炎	15	1							16
	直腸漿膜炎	14	1							15
	小腸脂肪壊死	116				1				117
	盲腸脂肪壊死	107				1				108
	結腸脂肪壊死	168				1				169
	直腸脂肪壊死	226				1				227
	腸PIA症候群			27						27
	鎖肛			47						47
結腸炎	154	1			1				156	
腸その他			27						27	
脾臓	捻転脾	1		177						178
	脾包膜炎	3		399						402
	脾鬱血			1,105				3		1,108
	脾炎			6						6
	脾膿瘍			30						30
	脾萎縮			92						92
	脾血腫			3						3
	結節脾(脾梗塞)	1		1,130						1,131
	脾腫			40						40
	脾出血			112						112
脾その他			44						44	

部位	疾病名	一般畜				病畜				計
		生後1年以上の牛	生後1月以上1年未満の牛	豚	めん羊	生後1年以上の牛	生後1月以上1年未満の牛	豚	めん羊	
脾臓	脾炎	1								1
	脾脂肪壊死	3		18						21
	脾壊死			1						1
	脾水腫			794						794
腎臓	腎炎	67		417	3			4		491
	腎壊死	70		499	3	1				573
	腎盂拡張	4		919	1			1		925
	嚢胞腎	41		2,312				1		2,354
	腎萎縮	1		105						106
	腎結石	18		3						21
	腎膿瘍	7		44				1		52
	腎周囲脂肪壊死	118								118
	腎リポフスチン沈着症	1		3						4
	腎奇形			28						28
	腎梗塞	2		77		1				80
	腎硬化症			2						2
	腎腫瘍			1						1
	腎出血	1		12						13
	腎点状出血	2	2	205			1	2		212
	腎包膜炎			9						9
腎盂腎炎			1						1	
腎その他	3		10						13	
膀胱	膀胱炎	48		3,360	2	3		16		3,429
	膀胱出血	2		1						3
	膀胱結石	60		736				8		804
	膀胱気腫	2		1						3
	膀胱膿瘍	1		28						29
	膀胱その他	6		5						11
子宮	産後子宮	3		249				1		253
	子宮内膜炎	24		2,975				5		3,004
	子宮膿瘍			2						2
	子宮奇形			2						2
	子宮腫瘍			1						1
	子宮水腫	1		2						3
	子宮脱(脛脱)							2		2
	妊娠子宮	3		394				4		401
	死胎児(ミイラ変性)			49				2		51
子宮蓄膿症	2		12						14	
子宮その他			6						6	
卵巢	卵巢囊腫			144						144
	卵巢奇形			2						2
	卵巢血腫			3						3
	卵巢腫瘍			2						2
	卵巢炎			1						1
	卵巢その他			3						3
乳房	乳房膿瘍			16				1		17
	乳房炎			5						5
精巣	精巣炎			2						2
リンパ節	リンパ節膿瘍	1		416						417
	リンパ節炎			274				1		275
	リンパ節メラノーシス			1						1
	リンパ節腫瘍			4						4
	リンパ節水腫			485				1		486
筋肉	筋肉出血	342		2,735	7	14	1	24		3,123
	筋肉膿瘍	15		3,891	1			22		3,929
	筋肉水腫	120		453		4		11	1	589
	筋肉変性	15	1	486		5		18	1	526
	筋肉炎	1				1		1		3
	筋肉血腫			12						12
	筋肉脂肪症			9						9
	筋肉その他	2		3				1		6

部位	疾病名	一般畜				病畜				計
		生後1年以上の牛	生後1月以上1年未満の牛	豚	めん羊	生後1年以上の牛	生後1月以上1年未満の牛	豚	めん羊	
骨	関節炎	2		860		1		17		880
	関節膿瘍			34				7		41
	脊椎膿瘍			130				8		138
	骨膿瘍			268		1		2		271
	骨異所形成			41						41
	骨奇形	1						2		3
	骨折	11		182				8		201
	骨瘤			33				1		34
	骨その他	2		2						4
その他	癩痕	10		630	1					641
	枝メラノーシス			34						34
	半陰陽			11						11
	枝腹膜炎	34	1	1,489	1			3		1,528
	胸腹膜炎			4,533						4,533
	腹膜炎			4,634	2			5		4,641
	体腔内膿瘍	6		273	2			10		291
	内臓黄疸			20						20
	内臓水腫			2						2
	皮下膿瘍	5		967				8		980
	皮下出血	293		3,797	3	2		8		4,103
	皮下水腫	94		233		3		1		331
	皮膚腫瘍			1						1
	皮膚炎							1		1
	枝脂肪壊死	15		1						16
	膿瘍等による汚染			4						4
	臍ヘルニア			3,184				8		3,192
	臍膿瘍	1		721						722
	そ径ヘルニア			30						30
	陰嚢水腫			1						1
	会陰ヘルニア			4				1		5
	滑膜嚢腫			7						7
潤滑油による汚染			5						5	

2 食鳥検査業務

1) 食鳥処理場の開場日数及び検査羽数

処理場の名称	種類	開場日数	検査羽数(羽)	
			年度計	日平均
株式会社ウェルファームフーズ宮城事業所	鶏(ブロイラー)	278	8,908,599	32,045

2) 月別検査羽数

項目	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
稼働日数	278	24	23	23	21	22	21	25	24	25	23	23	24
申請羽数	8,908,599	769,977	737,517	736,885	654,743	707,126	674,711	808,159	779,151	806,451	730,688	741,443	761,748
検査羽数(日平均)	32,045	32,082	32,066	32,038	31,178	32,142	32,129	32,326	32,465	32,258	31,769	32,237	31,740

3) 原因別処分羽数

項目	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
とさつ禁止	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
全部廃棄	削瘦・発育不良	4,954	580	300	341	619	675	380	304	361	352	367	361	314
	放血不良	6,334	513	251	404	651	616	528	454	754	762	345	738	318
	出血	1,094	112	125	102	82	149	52	73	56	83	67	110	83
	外傷	2,306	77	113	154	229	300	173	189	257	283	167	196	168
	炎症	33,751	2,230	3,087	2,650	2,346	3,003	2,351	2,700	3,009	4,219	3,054	2,840	2,262
	水腫	439	37	53	17	14	5	8	13	62	31	57	85	57
	腫瘍	111	22	2	4	5	1	12	5	5	20	13	11	11
	腹水症	19,446	1,812	2,309	1,768	1,160	573	596	1,362	1,282	2,131	1,724	2,363	2,366
	変性	12,647	1,477	983	1,081	919	1,468	902	1,210	1,065	1,124	967	795	656
	萎縮	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大腸菌症	62,121	4,315	4,765	4,067	3,390	3,558	2,437	3,787	5,991	7,178	8,386	6,793	7,454
	湯漬過度	839	97	0	0	164	0	0	0	0	0	213	0	365
マレック病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	144,042	11,272	11,988	10,588	9,579	10,348	7,439	10,097	12,842	16,183	15,360	14,292	14,054	
一部廃棄	出血	32,919	3,257	3,847	3,650	1,966	2,233	2,548	3,555	2,329	3,221	2,336	2,119	1,858
	外傷	157	66	0	0	0	0	0	0	0	0	63	0	28
	炎症	45,621	3,444	3,481	2,796	2,498	2,801	2,482	4,052	5,474	4,654	5,183	4,028	4,728
	水腫	1,488	455	37	68	182	107	22	49	85	94	129	89	171
	腫瘍	68	4	2	0	1	0	3	2	2	16	8	12	18
	変性	611	18	2	3	0	3	93	155	108	72	35	44	78
	萎縮	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	80,864	7,244	7,369	6,517	4,647	5,144	5,148	7,813	7,998	8,057	7,754	6,292	6,881	

4) 認定小規模食鳥処理場別確認状況

		計	小計 鶏	有限会社 トミヤマ・ スープ食品	宮崎かもかも 倶 楽 部	天 狗 の 丘 食 鶏 処 理 場	有 限 会 社 フ レ ッ シ ュ パ ル バ リ ー	小計 あひる	宮崎かもかも 倶 楽 部	有 限 会 社 フ レ ッ シ ュ パ ル バ リ ー	
食鳥の種類				鶏					あひる		
稼働日数				0	4	4	6		20	41	
確認羽数		6,433	508	0	41	240	227	5,925	1,192	4,733	
異常の有無の 確認	生体の状況	廃棄	0	0	0	0	0	0	0	0	
	体表の状況	全部廃棄	5	0	0	0	0	0	5	5	0
		一部廃棄	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	体壁内側面の 状況	廃棄	0	0	0	0	0	0	0	0	
	内臓の状況	当該臓器 廃棄	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		内臓全部 廃棄	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃棄羽数の合計		全部廃棄	5	0	0	0	0	5	5	0	
		一部廃棄	0	0	0	0	0	0	0	0	

3 精密検査業務

1) 精密検査実施状況

疾病名	畜種	生後1年以上の牛			豚		
		検査頭数	と禁	全廃	検査頭数	と禁	全廃
膿毒症		0	0	0	47	0	46
敗血症		0	0	0	111	0	64
豚丹毒		-	-	-	58	0	29
その他の微生物(豚赤痢等)		0	0	0	4	0	0
黄疸		0	0	0	6	0	1
尿毒症		0	0	0	0	0	0
腫瘍		3	0	1	9	0	7
白血病		0	0	0	1	0	1
変性		0	0	0	9	0	9
炎症		1	0	1	5	0	4
水腫		0	0	0	0	0	0
抗菌性物質残留		0	0	0	1	0	0
その他(トキソプラズマ病)		0	0	0	1	0	0
計		4	0	2	252	0	161

2) TSE検査実施状況

	牛	めん羊	山羊	計
検査頭数	2	1	0	3
スクリーニング検査陽性数	0	0	0	0

※「伝達性海綿状脳症検査実施要領」等の改正により、牛については平成29年4月1日から、めん羊・山羊については平成28年6月1日から、生体検査において神経症状等を呈するものについて検査を実施している。

3) 残留抗菌性物質検査実施状況

① スクリーニング検査

畜種	計				一般畜				病畜			
	検査頭羽数	陽性件数			検査頭羽数	陽性件数			検査頭数	陽性件数		
		肝臓	腎臓	筋肉		肝臓	腎臓	筋肉		肝臓	腎臓	筋肉
生後1年以上の牛	86	0	0	-	72	/	0	-	14	0	0	-
生後1月以上1年未満の牛	1	0	0	-	0	/	/	/	1	0	0	-
豚	444	0	1	0	336	/	0	-	108	0	1	0
めん羊	1	0	0	-	0	/	/	/	1	0	0	-
鶏(ブロイラー)	51	/	/	0	51	/	/	0	/	/	/	/
計	583	0	1	0	459	/	0	0	124	0	1	0

② 収去検査(モニタリング検査等)

畜種	抗生物質				合成抗菌剤			
	一般畜				一般畜			
	検査頭羽数	検査件数		陽性頭羽数	検査頭羽数	検査件数		陽性頭羽数
		腎臓	筋肉			腎臓	筋肉	
牛	15	0	15	0	15	0	15	0
豚	15	0	15	0	15	0	15	0
鶏(成鶏)	0	-	-	-	0	-	-	-
鶏(ブロイラー)	12	0	12	0	12	0	12	0
あひる	0	-	-	-	0	-	-	-
計	42	-	42	0	42	-	42	0

4) 食肉中の放射性物質検査実施状況

	牛	馬	豚	めん羊	山羊
検査頭数	100	0	33	12	0
違反件数	0	0	0	0	0

4 衛生指導及び情報還元等業務

1) 衛生指導実施状況

① と畜場及び食鳥処理場の衛生監視指導状況

対象施設	衛生監視 (回)	外部検証		
		現場検査(回)	微生物試験(検体)	記録検査(回)
と畜場		142	牛 60、豚 60	12
大規模 食鳥処理場		12	60	12
認定小規模 食鳥処理場	8			

令和3年度から、管轄のと畜場及び大規模食鳥処理場における衛生管理の実施状況を確認するために、「と畜場法施行規則」及び「と畜検査員及び食鳥検査員による外部検証の実施について(令和2年5月28日付け生食発0528第1号通知)」に基づき、下記のとおり外部検証を実施している。

現場検査：施設の衛生管理及び衛生的な処理の実施状況を作業現場において直接確認する。

微生物試験：衛生管理の実施状況の効果を客観的に評価するため、枝肉や食鳥とたいの表面を無菌的に切り取りこれを検体として、衛生指標菌(一般細菌及び腸内細菌科菌群)の定量検査を行う。

記録検査：施設の衛生管理計画及び手順書に基づく衛生管理実施記録の内容を確認する。

② 食肉等運搬車輛の衛生監視指導状況

食中毒多発時期を夏期衛生指導強化月間と設定し、管轄のと畜場内を出入りする食肉等運搬車両に対して監視指導を実施した。

実施期間	実施対象	内 容
6月1日～ 6月30日	食肉等運搬車輛 19台	① 食肉等運搬車輛の衛生監視指導 ② 車両冷蔵庫内のATP拭き取り検査 ③ 食肉衛生啓発リーフレット・衛生管理記録用紙の配布 ④ 検査済ステッカーの交付

2) 衛生講習会、衛生検討会等実施状況

実施月日	会議名	参加者	内 容
5月31日	HACCP連絡会議①	株式会社宮城県食肉流通公社 8名 当所検査員 6名	・5月の外部検証結果について
6月29日	HACCP連絡会議②	株式会社宮城県食肉流通公社 8名 当所検査員 5名	・6月の外部検証結果について
7月5日	認定小規模食鳥処理業者 衛生講習会	認定小規模食鳥処理業者 9名 講師:当所検査員 2名	・鳥インフルエンザについて ・食鳥処理場における衛生管理について
7月6日	夏期衛生講習会①	株式会社宮城県食肉流通公社 原料一課 43名 講師:当所検査員 2名	・食中毒について ・食中毒予防3原則について ・HACCPについて ・外部検証について
7月12日	夏期衛生講習会②	株式会社宮城県食肉流通公社 部分肉加工・販売部門 32名 講師:当所検査員 2名	・食中毒について ・食中毒予防3原則について ・HACCPについて ・外部検証について
8月24日	HACCP連絡会議③	株式会社宮城県食肉流通公社 9名 当所検査員 3名	・7月、8月の外部検証結果について
9月28日	HACCP連絡会議④	株式会社宮城県食肉流通公社 9名 当所検査員 6名	・9月の外部検証結果について ・小動物工程のライン停止の検証
10月12日	夏期衛生講習会③	株式会社宮城県食肉流通公社 原料一課・二課 13名 講師:当所検査員 2名	・食中毒について ・食中毒予防3原則について ・HACCPについて ・外部検証について

3) 情報還元等実施状況

と畜検査結果を関係機関や畜産生産者等に還元し、情報交換等の連携を強化することで、疾病の減少に向けた有効活用を図っている。

内 容	件 数
と畜検査結果の情報公開	随時※1
「検査所だより」の発行	2
と畜検査証明書の交付	2
原皮証明書の交付	24
輸出衛生証明書の交付	0※2

※1 令和3年度から当所では「と畜検査情報管理システム」を導入。と畜検査結果は電子データとしてと畜場に提供され、と畜場を通して生産者等に随時情報還元されている。

※2 令和2年10月13日から、宮城県内で豚熱ワクチン接種が開始となり、当所管轄のと畜場においては香港及びベトナムへの豚肉の輸出は停止している。

4) 外部研究機関等検体採取状況

研究等の目的で依頼のあった機関に対して検体採取に協力した。

目的	畜種	検体	採取件数	採取検体総数
教育	牛	卵巣・子宮	1	8
	牛	蹄付き足	2	24
調査	豚	鼻腔	5	100
	豚	肺	8	154
	豚	血液	6	82
	牛	筋肉	13	78

5) オープン・ラボ

当所では、県内の一般消費者等を対象に、食肉衛生検査所の業務内容と食肉の安全性を確保するための取り組みについて理解を深めてもらうことを目的として体験型事業を実施している。

開催日時	参加団体	参加者
11月 7日	東北医科薬科大学	10名、引率者2名
11月15日	東北医科薬科大学	10名、引率者2名
1月30日	宮城県農業大学校	8名、引率者2名

6) みやぎ出前講座

本県では、県民に県政に対する理解と関心を深めてもらうために、県民からの要望に応じて、重点的に取り組んでいる施策等について職員が直接出向いて説明を行っている。

当所では、メニュー名「食肉のできる工程と食肉検査」として実施している。

開催日時	開催場所	参加者
7月14日	西郷公民館「西郷南寿大学」	30名
10月27日	宮城県総合畜産共進会	10名

7) 獣医師インターンシップ

本県では、学生等に対して、実習及び研修的な就業体験の機会を設け、実社会への適応能力のより高い人材の育成、学生の県業務への理解促進及びキャリア形成を図っている。

当所では、獣医学科学生のインターンシップを受け入れている。

開催日時	参加大学	参加者
5月24日	岩手大学	2名
8月17日	北里大学	2名
8月31日	岩手大学、日本獣医生命科学大学	2名
9月11日、12日	酪農学園大学	2名
2月21日	日本大学	1名
3月12日	岩手大学、北里大学	2名

Ⅲ 調査研究

調査研究テーマ及び学会・研修会等への報告状況

番号	調査研究テーマ	研究者	報告学会等
1	豚糞便中の食中毒起因菌保有状況調査	○高橋千鶴、菊地利紀	
2	と畜場に搬入された豚における病原性 <i>Yersinia enterocolitica</i> の保有状況について	○加藤千尋、天野隆之 ¹⁾ 、結城瑞希	・宮城県保健環境センター研究発表会
3	精密検査で分離された <i>Streptococcus suis</i> の遺伝子検索と薬剤感受性	○菊地利紀、額田優花 ²⁾	
4	と畜場搬入豚のストレス評価とアニマルウェルフェア向上の検討について	○高橋宏明	・宮城県環境衛生技術職員研修会 ・第 120 回日本養豚学会
5	LC-MS/MS を用いた動物用医薬品一斉分析法の改良の検討	○山口麻綾、佐々木秀樹	
6	豚の肝臓でみられた肝細胞癌の一例	○浅沼まりな ³⁾	
7	豚の T 細胞性リンパ腫の一例	○岡田珠里亜、浅沼まりな ³⁾	・全国食肉衛生検査所協議会病理研修会
8	病理組織検査の HE 染色における内部精度管理方法の検討	○菊地利紀、岡田珠里亜、浅沼まりな ³⁾ 、佐々木秀樹	
9	と畜検査における迅速病理診断法の検討	○浅沼まりな ³⁾	

※ 令和 6 年 4 月 1 日現在所属 1) 動物愛護センター 2) 気仙沼保健福祉事務所 3) 東部保健福祉事務所

IV その他

1 県内食肉衛生検査所一覧

(令和6年3月31日現在)

機関名	所在地	電話番号
宮城県食肉衛生検査所	登米市米山町字桜岡今泉 314	0220 (55) 3752
仙台市食肉衛生検査所 ^{※1}	仙台市宮城野区扇町 6-3-6	022 (258) 6906

2 県内と畜場一覧

(令和6年3月31日現在)

と畜場番号	名称	区分		所在地	許可年月日	処理頭数(頭/日)	
						大/小	小動物換算
宮城県 4	宮城県食肉流通センター	民営	一般	登米市米山町字桜岡今泉 314	S56.2.7		一般 1,450 病畜 50
宮城県 6	宮城県畜産試験場内簡易と畜場	公営	簡易	大崎市岩出山南沢字樋渡1	H21.3.30		10
仙台市 1	仙台市ミートプラント ^{※1}	公営	一般	仙台市宮城野区扇町 6-3-6	S50.6.18	200/950	1,550

3 県内食鳥処理場一覧

1) 大規模食鳥処理場

(令和6年5月31日現在)

処理場	所在地	許可年月日	年間予定処理羽数	種類	主な品種
株式会社ウェルファムフーズ 宮城事業所 ^{※2}	(新)遠田郡涌谷町字尾切 5 番 8	R6.5.28	11,120,000	鶏	ブロイラー
	(旧)石巻市北村字涌谷沢 2-1	H13.5.22 (廃止 R6.5.12)	8,600,000		

2) 認定小規模食鳥処理場

(令和6年3月31日現在)

処理場	所在地	許可年月日	年間予定処理羽数	種類	主な品種
有限会社トミヤマ・スープ食品	大崎市鹿島台木間塚字江合 580 番地の 2	H4.3.31	78,000	鶏	成鶏
有限会社フレッシュバルバリー	石巻市針岡字浦 95	H9.4.25	10,000	あひる 鶏	フランス鴨
宮崎かもかも倶楽部	加美郡加美町宮崎字西原 2 番 44-2	R4.12.9	4,000	あひる 鶏	合鴨
天狗の丘食鶏処理場	大崎市田尻八幡字天狗堂 138	H13.3.26	5,000	鶏	成鶏
カナール食品 ^{※3}	伊具郡丸森町大内字青葉 43 番地	H4.3.31	休止中のため 処理予定なし	あひる	フランス鴨
町田食鶏処理場 ^{※3}	角田市角田字町田 368	H20.8.13	50,000	あひる	合鴨

※1 仙台市所管 ※2 施設移転し、令和6年5月31日から新施設で稼働 ※3 仙南保健所所管

4 と畜・食鳥検査手数料（宮城県）

（と畜場法施行条例・食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律施行条例）

（令和6年3月31日現在）

畜種		検査手数料（円）
牛	生後1年以上	1,000
	生後1月以上1年未満	500
	生後1月未満	100
馬		1,000
豚		350
めん羊		100
山羊		100
食鳥		3

5 と畜場使用料・解体料（宮城県食肉流通センター）

（認可年月日：令和6年4月23日）

畜種		と畜場使用料・解体料（円）		
		一般畜	病畜	病畜（時間外）
牛	生後1年以上	16,907	21,472	24,222
	生後1月以上1年未満	7,458	10,208	
	生後1月未満	6,358	8,118	
馬		17,820	22,077	24,827
豚	普通	2,343	5,445	6,545
	大貫	3,245	8,184	9,284
めん羊		3,608	4,708	
山羊		3,608	4,708	

※ 令和6年5月1日から上記のと畜場使用料・解体料が適用されている。

6 行政組織規則（抜粋）

昭和三十五年十一月一日

宮城県規則第七十六号

（食肉衛生検査所）

第三十七条 と畜場法（昭和二十八年法律第百十四号）及び食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律（平成二年法律第七十号）に規定する事務並びにと畜場及び食鳥処理場における食肉衛生に関する事務を行うため、食肉衛生検査所を設置する。

2 食肉衛生検査所の名称、位置及び所管区域は、次のとおりとする。

名称	位置	所管区域
宮城県食肉衛生検査所	登米市	宮城県（仙台市を除く）の区域

3 食肉衛生検査所の所掌事務は、次のとおりとする。ただし、保健所の所管に属するものを除く。

- 一 獣畜のとさつ及び解体並びに食鳥処理の規制及び指導に関すること。
- 二 と畜場及び食鳥処理場の衛生指導に関すること。
- 三 と畜場及び食鳥処理場における食肉衛生に関すること。

- 四 と畜検査及び食鳥検査に関すること。
- 五 と畜、食鳥肉等の精密検査に関すること。
- 六 獣畜、食鳥、と畜、食鳥肉等の調査研究に関すること。
- 七 と畜、食鳥肉等の衛生統計に関すること

7 事務委任規則（抜粋）

昭和三十五年十一月一日

宮城県規則第七十七号

（食肉衛生検査所長）

第四条の二 食肉衛生検査所長に、次に掲げる事務を処理する権限を委任する。

- 一 と畜場法(昭和二十八年法律第百十四号)の施行に関する次のこと。
 - イ 第七条第六項の規定による衛生管理責任者の氏名等の届出及び変更の届出の受理
 - ロ 第十条第二項の規定による作業衛生責任者の氏名等の届出及び変更の届出の受理
 - ハ 第十三条第一項第一号の規定による自家用とさつの届出の受理並びに同条第三項の規定による取扱方法及び処理方法の指示
 - ニ 第十四条第一項から第四項までの規定による獣畜及びその肉等の検査
 - ホ 第十四条第三項第二号の規定による獣畜の皮等の持出しの許可
 - ヘ 第十六条の規定によるとさつ及び解体の禁止並びに措置命令
 - ト 第十七条第一項の規定による報告の徴収及び立入検査
 - チ 第十八条第一項の規定による施設の使用の制限及び停止並びに同条第二項の規定によるとさつ及び解体の業務停止及び禁止
- 二 食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律(平成二年法律第七十号)の施行に関する次のこと。
 - イ 第十五条第一項から第三項までの規定による食鳥検査
 - ロ 第十六条第七項の規定による確認状況報告の受理並びに同条第九項の規定による指導及び助言
 - ハ 第二十条の規定によるとさつ禁止等の措置
 - ニ 第二十五条第三項の規定による報告の受理
 - ホ 第三十七条第一項の規定による報告の徴収
 - ヘ 第三十八条第一項の規定による立入検査及び収去
- 三 食品衛生法の施行に関する次のこと(食肉衛生に係るもので、かつ、と畜場及び食鳥処理場並びにこれらの敷地内に係るものに限る。)
 - イ 第二十八条第一項の規定による報告の要求、臨検、検査及び収去
 - ロ 第五十九条の規定による廃棄命令及び処置命令(第六条又は第十三条第二項の規定に違反したものに限り。)
- 四 農林水産物及び食品の輸出の促進に関する法律(令和元年法律第五十七号)の施行に関する次のこと(食肉衛生に係るもので、かつ、と畜場及び食鳥処理場並びにこれらの敷地内に係るものに限る。)
 - イ 第十五条第二項の規定による輸出証明書(衛生証明書に限る。以下この号において同じ。)の発行
 - ロ 第十七条第四項の規定による適合施設の確認
 - ハ 第十七条第五項の規定による適合施設の設置者等に対する改善の求め
 - ニ 第五十三条第二項の規定による報告の徴収及び立入調査
 - ホ 第五十三条第五項の規定による輸出証明書の発行の取消し

